

新日本スポーツ連盟京都スキー協議会

2015.2.17

Tel : 075-315-9710 Fax : 075-315-7039 URL : <http://wsak.cava.jp/index.html>

発行責任者/小山孝夫 編集責任者/荒川邦博 編集委員/中島剛

36名が参加、指導員養成講習に9人が挑戦 第2回ウィークテーツアー・1月21～23日:木曽福島スキー場



第2回ウィークデースキーツアー成功裡に終わる！

事務局長 塩谷憲司

昨年に引き続き、今季も木曽福島スキー場において第2回ウィークデースキーツアーを開催し、大きな成功を収めることができました。参加者数も怪我や家庭の都合で3人のキャンセル生じましたが、第一回よりも多い36名の参加で指導員も昨年の倍8人の参加を得て様々な取り組みができました。

何よりも画期的なのは、STT（スキーテクニカルテスト）を、最終日午前中のフリー滑走時に実施出来た事です。初級指導員受検者7名以外に果敢に挑戦されたお二人が加わり9名が受検しました。

2名が3種目平均65点以上を獲得して、来たる3月京都スキー協主管の初級指導員検定

会での応用種目の合格へ手が届く地点に到達出来た事は極めて有意義であります。

今後、養成者のみならず会員や行事参加者が自分のスキー技術のレベルを客観的に知ることにより、次なるステップアップに向上心をもって意欲的に練習に励むという気風が生まれるというSTT制度が定着する事を願っています。



大屋校長が歓迎の挨拶

ウィークデーツアー参加者の皆さんからの投稿です

ツェルマットで、娘夫婦と滑ることが目標 都西山SCに入会申し込み T.Mさん
初心者でもあり、ツアーについていけるか不安だったが、思い切って参加した。

1日目は、風邪気味で、スキーも下手でつらかった。しかし、あきらめずにやることで、3日目には緩斜面の平行のレベルまで到達した。コーチの方や周りのみなさんのおかげである。1日目、「腕をまえにだすこと」、2日目「腕を開いて、体を回すこと」、3日目「腕を開いたあと、板がまわるまで待つこと」と、3人のコーチの先生に言われた。実際に自分でやってみることで、その指示の意味がだんだんわかってきた。

3日目は塩谷憲司さんが、マンツーマンでついてくれることになった。風邪気味は変わらないが、最終日なので覚悟を決め、がんばろうと思った。

ターンをしたあと、どうしても板が揃わず、「ハ」の字になる。山側の足が開いてしまうのだ。それを塩谷さんは、「し」の字のように、しばらく下に直滑降すると自然に板は上を向き、曲がるから、待つことだと言う。

それがカービングスキーの特徴だと教えてくれた。急な斜面では、なかなかうまくいかないが、緩斜面ではできるようになった。直滑降しても山側の足も自然に「二」の字になり、そのままゆっくりと平行ターンすることができるようになった。理論にそって、実践してみるとうまくいき、実践で理論を確かめられた。基本にそって教えてもらうことで上達したのだろう。今までのように自己流でやっていたら成長しなかっただろう。

しかし、少し急斜面になるとそのスピードに、板のコントロールができず、「ハ」の字になる。それでも必死に体制を保ち、こけずに滑ることができるようになった。

スキーは、18年ほど前、教職員スキー祭典の講習が基本で、それから3回ぐらい友達に誘われて日帰りで行ったぐらいです。

山やクライミングと同じで、これから「生涯スポーツ」として、上手になりたいと思っています。娘が国際結婚してスイスにいるので、ツェルマットで、娘夫婦と滑ることが目標です。山とスキーを、皆さんと、楽しんでやっていきたいです。成果がはっきりと見えた今回のツアーでした。ありがとうございました。

素晴らしい展望が不安を払拭

京都西山SC 家前 義雄

今季の初滑りで色々不安もありましたが、頂上での御嶽山、乗鞍岳などの素晴らしい展望が一気に不安を払拭してくれました。

今回は初めてスクールでカービング特性、滑り方等をご指導頂き、我流の滑りが少しは良くなったのではと、自分なりに満足出来ました。

最終日はSTT（スキーテクニカルテスト）に果敢に参加しました。

落第点ではありましたが、自分なりに悪いところが見えて来たような気がしております???

次回の乗鞍ツアーでは、もっと上手く滑れるようにしたいと思います。

大変有り難うございました。又フェスティバル2015乗鞍でお会い出来るのを楽しみにしています。

楽しかったウイ〜クデ〜スキ〜

森の会 丸谷優子

元々、木曽福島スキー場はスキーヤーオンリーの上、(去年は、沢山の方が御岳の噴火で亡くなり、未だに七人が行方不明で、お気の毒ですが) 御岳山が目に見えるのは、やはり素晴らしい。そんな訳で、今年もウイークデイスキーに参加しました。着いた日はお天気で、御岳の噴火の煙も見え、山に向かって、手を合わせた後、滑り始めました。

初日はお正月習ったことの半分は忘れていました。二日目は悪雪で転んでばかり、こんな筈じゃあなかったと、ショックでがっくり。三上指導員に慰められるも落ち込んでしまいました。三日目、綺麗に圧雪された雪で少し怖さは残るもののスイスイ滑れました。転ぶことなく頂上から、下まで気持ち良く滑れました。急斜面でも少し止まれるようになり、暴走の危険が多少減りました。私にとってはもう少ししっかり止まれるようになり、基本姿勢が保てるようになるのが今後の課題です。

雨とぐさぐさ雪！でも神は見放さなかった！

京都西山SC 福井京子

今シーズン2回目の木曽福島スキー場は人も少なくアットホームなゲレンデで気に入っています。

一日目は天気も良く目前には真っ青の空に噴煙と白銀に包まれた御嶽山が何事も無かったようにドシーンと横たわっています。

今でも、このどこかに行方不明の方が眠っていると思うと「スキーなんかしてて、申し訳ない」という気持ちになりました。

2日目は麓では雨、ゲレンデ上部は良い雪だと思いきや、水分の多い雪で圧雪もされてないのかと思わせるぐさぐさの重い雪で、みんな足を取られて転倒の連続で「こんなはずやなかった」と帰りたい気分でした。

しかし、神は見放さなかった！最終日は、朝から雪は降っていたがお日様も顔をのぞかせ、しっかり圧雪もされてとても素晴らしいゲレンデに一同大喜び！

STT受験者は、少し事前講習していただいて緊張しながら各種目に取り組んだ結果、お2人が合格ラインに到達したものの、わたしは合格圏内の平均点65点には届かず、もっと練習しなければと反省しています。

今回のスキーツアーで事務局の方々に大変お世話になりましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

リフトも待つこともなく、まる二日を堪能

京都西山スキークラブ 新入会員 K.Fさん

先般、1月21日～23日に「きそふくしまスキー場」への、京都スキー協の「第2回ウィークデースキーツアー」に参加させていただき、久しぶりのスキーを楽しんでまいりました。平日のためゲレンデは貸切状態に近く、リフトに乗るのも並んで待つこともなく、まる二日分の時間を堪能してきました。

私はフリー滑走での参加だったのですが、現地ではスキー技能に応じたグループ分けをして指導までしていただき大変有意義でした。

また様々な組織からの参加にもかかわらず、ファミリーな雰囲気でも親しみやすく、アフタースキーでの交流会にも参加して、楽しい時間を過ごさせていただきました。中でも、特に『京都西山スキークラブ』の存在力を強く感じたところです。

そして何より、行き帰り共に集合場所まで車に同乗させていただきました、安井様に大感謝です。誠にありがとうございました。

皆さんスキー技能の向上心が高く、装備も本格的で驚いています。

私自身は特に何級の資格を取得しようという欲はありませんが、転ばずに常に美しいフォームで滑れることを目標に今後も頑張りたいと思っています。急斜面では難しいですが…

こんな爺ですが、一人でも多くの同世代の皆さんと、仲良くできたらいいなあと思っています。どうかよろしくお願いします。



塩谷指導員(左)

ありがとうございます
ございました！

三上指導員(右)



第6回運営委員会の報告 2015年1月20日(火)：新日本スポーツ連盟事務所

- ①役員・専門部体制の確立・強化についての確認
- ②ホームページのリニューアル報告
- ③京都スキー協の宣伝(のぼり10本作成・ティッシュ付リーフ・ミニパンフ等)
- ④ウィークデーツアー、京都フェスティバルのとりくみ
- ⑤スキー協議会規程、指導員規程、派遣規程について改訂委員会からの報告
- ⑥関西ブロック研修レベルアップスキーについて
- ⑦各クラブ員及びメイトの増減
- ⑧各専門部からの報告

*次回運営委員会＝2月17日(火)